

ひとが賑わうまち

【基本施策2】  
産業活性化プロジェクト



⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	中山間地域等直接支払事業	14,928	13,318	1,610	17,683 15,099	15,373 13,279	2,310 1,820	14,986	13,376	1,610	5 5
	2	有害鳥獣捕獲事業	5,006	1,576	3,430	5,166 3,518	1,736 1,698	3,430 1,820	3,343	1,733	1,610	12 11
	3	農業振興事業	4,960	3,420	1,540	7,111 4,844	4,311 3,024	2,800 1,820	6,010	3,700	2,310	11 10
	4	農業者育成支援事業 (農業者戸別所得補償制度事業)	30,684	24,944	5,740	25,702 23,163	20,172 13,643	5,530 9,520	44,610	36,000	8,610	1 1
	5	農地中間管理事業	5,299	2,219	3,080	5,279 3,202	2,409 1,382	2,870 1,820	2,926	2,016	910	10 9
	6	活力ある高収益型園芸産地育成事業	11,938	11,168	770	158,661 138,136	157,401 136,316	1,260 1,820	910	0	910	7 15
	7	畜産総合対策事業	3,859	1,549	2,310	3,590 2,684	1,630 1,564	1,960 1,120	2,522	1,612	910	13 12
	8	ふくおかの畜産競争力強化対策事業	7,799	5,419	2,380	8,090 4,427	6,060 2,607	2,030 1,820	4,964	3,354	1,610	9 8
	9	水田担い手機械導入支援事業	8,182	6,222	1,960	10,863 8,620	8,203 6,800	2,660 1,820	18,087	16,477	1,610	8 7
	10	一般農業用施設整備事業	52,278	42,688	9,590	48,581 48,847	41,021 41,497	7,560 7,350	46,708	38,658	8,050	15 14
	11	法定外公共物管理事業	1,498	1,498	0	1,500 1,499	1,500 1,499	0 0	1,600	1,600	0	14 13
	12	特定防衛施設周辺整備事業	25,740	22,800	2,940	32,940 32,766	30,000 29,966	2,940 2,800	26,650	22,800	3,850	3 3
	13	土地改良施設維持管理適正化事業	15,203	13,593	1,610	43,610 15,436	42,000 14,036	1,610 1,400	100,815	98,015	2,800	6 6
	14	再編交付金事業	77,921	75,261	2,660	20,060 15,435	17,400 13,685	2,660 1,750	26,395	23,595	2,800	2 2
	15	農村環境整備事業	37,185	33,475	3,710	51,610 51,205	47,900 47,705	3,710 3,500	56,450	53,300	3,150	4 4
	16											
	17											
	18											
	19											
	20											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦  
施策全体の今後の方針と展望  
農業を取り巻く環境は、農業従事者数の減少や高齢化に加え、耕作放棄地の増加等大変厳しい状況であります。このような状況を踏まえ、今後も農地利用集積による耕作放棄地の解消や新規就農等担い手の確保・育成を進めてまいります。また、JAや普及センター等関係機関と連携を図りながら農業者にとって収益性が高く魅力ある農業生産環境の整備を進め、農産物の生産・加工・販売を一体的に行う6次産業化や地産地消を推進し、農産物のブランド化や特産品づくりを進めてまいります。

⑧  
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	水産業の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	農林水産課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	-
	施策コード	A-2-2	シート作成者名	

① 施策の現状と課題	<p>近年、国際化の進展・健康志向を背景に水産物の世界的需要は高まっていますが、多くの水産資源が減少傾向にあり、資源管理の重要性が高まっています。また、藻場・干潟の減少や磯焼けの進行、漂流・漂着ゴミの増加等により水産動植物の生育環境が悪化しており、漁業生産への悪影響が懸念される状況となっています。</p> <p>本市においてもヨシエビの中間育成、クルマエビ・ガザミの放流を行っています。令和3年度の漁獲量は141トンとかなりの減少となっています。このため、海面・内水面を通じた生育環境の改善及び資源の管理・回復、増養殖の推進が必要です。</p> <p>漁業就業者については、資源状況の悪化、魚価の低迷といった経営環境の悪化に加え、漁港施設の老朽化など、労働環境が改善されないことから、若い漁業者を中心に減少しています。また、漁船についても高船齢化が進行しており、こうした状況が続けば将来を担う就業者の確保や漁船取得が十分には望めず、近い将来において活力が急速に低下し、漁業生産の継続が困難となる事態が予測されます。</p> <p>このため、漁港施設の老朽化・長寿命化対策を含めた水産物の安定供給基盤の整備及び安心して定住できる災害に強い漁村の整備を推進するとともに、新規就業者・参入を促進し、継続的に漁業活動を担い得る漁業経営、人づくりを進めていく必要があります。</p> <p>公設卸売市場については全国的に取扱量が減少しており、本市の魚市場についても同様でありましたが、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度の取扱量は1,415トンと減少しております。ゆえに、魚市場を流通拠点とし、産地の販売力強化と流通の効率化・高度化をさらに促進するとともに、水産物の高付加価値化を図ってまいります。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	主要施策名(1)	つくり育てる漁業の推進
	中間育成・種苗放流等の資源管理型漁業及び海面養殖事業を推進し、資源の増殖を図るとともに、漁場管理と漁獲量の増大に努めます。	
	主要施策名(2)	生育環境の改善
	海域環境に応じた手法により藻場・干潟の保全及び生育環境の改善に努めます。	
	主要施策名(3)	漁業基盤の整備
	沿岸漁業の陸揚げ拠点となる漁港の整備を進め、漁船漁業の近代化と充実を図ります。また、漁港施設の老朽化・長寿命化対策を推進します。	
	主要施策名(4)	災害に強い漁業地域づくり
	堤防等の海岸保全施設や避難路・避難地の整備を進め、防災力の強化を図ります。	
	主要施策名(5)	漁業就業者の育成
	漁業就業者の減少・高齢化に対応するため、定住条件の整備を図り、意欲的な新規就業者の参入を促進するとともに、担い手たる漁業者の漁業技術及び経営管理能力の向上や後継者の育成を図ります。	
主要施策名(6)	販売力強化と流通の効率化・高度化	
魚市場を流通拠点とし、産地と消費者をつなぐ多様な流通経路の構築により産地の販売力強化を図るとともに、情報インフラを活用した販路拡大を推進します。		
主要施策名(7)	水産物の付加価値化	
豊前海一粒かき等の水産物のブランド化や活魚の出荷体制を強化し、高付加価値化を図ります。		

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績					評価年度	達成度の説明 (R3年度)
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	クルマエビ・ヨシエビ・ガザミの漁獲量(t)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	港勢調査による クルマエビ：4.3t、ヨシエビ：93.2t ガザミ：43.4t	
		272	265	267	254	253	300		
							141		
	漁港施設の機能強化・機能保全計画の事業進捗率(%)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	事業費/総事業費 =7,779/7,938百万円	
		73	82	88	92	95	98		
							98		
	公設卸売市場の取扱量(t)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	新型コロナウイルスの影響により大幅に減少した昨年度に比べ回復した。	
		1,600	1,453	1,600	1,838	1,140	1,400		
							1,415		
	新規就業者数(人)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	実施できなかった。	
		0	0	0	0	0	1		
							0		

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(1)	つくり育てる漁業の推進
	昨年度の事業進捗状況	
	栽培漁業としてクルマエビ・ガザミの直放、ヨシエビの種苗育成・放流、浅海増殖事業としてアサリ(親貝)の放流を行いました。	
	残された課題・今後必要な取り組み	
	水産資源・漁獲量の減少や不安定な漁業経営等の現状に対応するため、今後もつくり育てる漁業である「栽培漁業」「浅海増殖」等の事業を推進し、豊前海における水産資源及び漁業経営の安定に努めてまいります。	
	主要施策名(2)	生育環境の改善
	昨年度の事業進捗状況	
	海岸線に漂着した漂着物の撤去等を行い、干潟の環境保全に努めました。	
	残された課題・今後必要な取り組み	
	ハドロ等の堆積により干潟環境の悪化の進行が懸念されている。魚介類等の成育場を提供するためにも、今後も藻場、干潟の保全及び環境改善の継続は必要である。	
主要施策名(3)	漁業基盤の整備	
昨年度の事業進捗状況		
釜尾漁港の計画上の施設整備は、R2工事で完了。また、老朽化した漁港施設、水域施設を機能保全事業により補修工事を実施した。		
残された課題・今後必要な取り組み		
老朽化した漁港施設・水域施設の保全工事を機能保全計画に則り、進めていく。		
主要施策名(4)	災害に強い漁業地域づくり	
昨年度の事業進捗状況		
R3年度は、蓑島漁港・稲童漁港の漁業基盤の整備(保全浚渫)を優先的に実施しました。		
残された課題・今後必要な取り組み		
今後は、耐震・耐津波性能を満足していない施設について、補強等の工事を計画していく必要がある。		
主要施策名(5)	漁業就業者の育成	
昨年度の事業進捗状況		
漁業種等で弊害が生じ、実施できませんでした。		
残された課題・今後必要な取り組み		
関係機関と連携を図りながら、新規就業者の受け入れが円滑にすすめられるよう取り組んで参ります。		
主要施策名(6)	販売力強化と流通の効率化・高度化	
昨年度の事業進捗状況		
販売拡大や流通経路の構築の検討を行いました。		
残された課題・今後必要な取り組み		
行橋市魚市場もハモを「相対」での取引を行ってきたが、ほかの魚種に対しても行なっていきたいと考えています。		

各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(7)	水産物の付加価値化
	昨年度の事業進捗状況	
	行橋市ブランド推進委員会水産部会を立ち上げ、水産物のブランド化に向けた加工品開発の検討を行っています。また、「行橋市水産加工品開発戦略」を策定しています。	
	残された課題・今後必要な取り組み	
「夏のハモ」「冬のかき（豊前海一粒かき）」の加工品開発に取り組んでいきます。		

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	つくり育てる漁業事業	7,455	2,905	4,550	10,927 9,004	5,327 4,104	5,600 4,900	9,592	4,692	4,900	2 2
	2	水産物供給基盤機能保全事業（行橋地区）	94,790	91,290	3,500	264,493 254,215	260,083 250,015	4,410 4,200	236,250	233,100	3,150	1 1
	3	杵尾漁港整備事業(機能強化)	93,862	91,762	2,100	0 0	0 0	0 0	0	0	0	4 4
	4	養島漁港整備事業(機能強化)	24,036	21,936	2,100	0 0	0 0	0 0	0	0	0	5 5
	5	魚市場管理事業	20,303	15,963	4,340	19,166 17,410	12,026 10,970	7,140 6,440	20,720	14,630	6,090	3 3
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦	<p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>水産物の安定供給を図るため、今後とも、老朽化した漁港施設の整備を推進し、既存ストックの長寿命化に努めます。海岸保全施設については、津波・高潮等による被害を防止するため、防災（ハード）・減災（ソフト）に向けた取り組みを行います。また、つくり育てる漁業事業として、クルマエビ、ガザミの種苗受入、直接放流やヨシエビの種苗受入、キャンパスでの中間育成、放流を継続実施し、水産資源の確保に努めます。公設卸売市場については、新型コロナウイルスの影響により卸売高が減少していますが、今後も経費削減や販売力強化を含め経営の安定化に向けた取り組みを行っていきます。</p>
---	---

⑧	<p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>
---	----------------------------



⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	まちづくり勉強会事業	1,991	241	1,750	2,623 3,340	873 890	1,750 2,450	3,730	930	2,800	1 1
	2	商工業対策事業	6,603	3,453	3,150	13,287 10,534	10,137 6,684	3,150 3,850	14,580	11,430	3,150	2 2
	3	イルミネーション事業	2,760	1,500	1,260	2,760 2,690	1,500 1,500	1,260 1,190	2,760	1,500	1,260	3 3
	4											
	5											
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦  
施策全体の今後の方針と展望

近年、郊外における大型商業施設の進出等により、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は厳しさを増している。とりわけ行橋駅東側の既存商店街は空洞化が進み、大変厳しい状況が続いている。しかしながら、東側にはリブリオ行橋や大原病院、福岡銀行などの集客施設や、大原病院等の医療機関があり、行橋停車場線都市計画道路事業も行われている。そういった集客施設等や事業を活用し、商店街へ人を呼び込むためには、積極的なPRや誘致活動など、行政のみでなく、商店街側にも一層の努力が必要である。行政としては、今後もまちづくり勉強会を継続するとともに、商店街・商工会議所と一緒に将来展望について議論を進めていく必要がある。

⑧  
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等





⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	サンワークゆくはし管理事業	15,882	15,042	840	17,634 17,625	16,794 16,785	840 840	18,608	17,208	1,400	6 5
	2	労働福祉・雇用推進事業	1,343	153	1,190	1,076 1,052	166 142	910 910	1,948	198	1,750	4 3
	3	緊急雇用創出事業	0			0 0			0			
	4	企業立地事業	6,076	196	5,880	7,010 5,819	1,410 219	5,600 5,600	8,245	1,245	7,000	1 1
	5	工業団地整備事業	3,540	740	2,800	3,900 3,856	1,100 1,056	2,800 2,800	0	0	0	2
	6	工業振興事業	4,577	1,077	3,500	4,722 4,485	1,222 985	3,500 3,500	4,689	1,189	3,500	3 2
	7	企業立地交付金交付事業	116,920	116,570	350	6,350 6,350	6,000 6,000	350 350	3,350	3,000	350	5 4
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦	<p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>現在造成が完了している稲童工業団地は完売したが、今後も稲童工業団地の拡張や民有地を活用した企業誘致活動を積極的に行うと同時に、新たな工業団地の造成の検討も行っていく。 雇用については、「行橋市自動車産業振興協議会」を中心に産学官の連携を強化し、地域活性化、地方創生を推進するため、この地域に若い世代の雇用創出を図る。 また、市独自の合同就職説明会の開催や関係機関と連携を図り、一人でも多くの雇用創出に努めて行きたい。</p>
---	--

⑧	<p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>
---	----------------------------

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	観光の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	商業観光課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	総合政策課・文化課・スポーツ振興課
	施策コード	A-2-5	シート作成者名	

① 施策の現状と課題	<p>本市における観光の位置づけとしては、観光による集客を図ることで特産品・中間製造業者の所得向上による雇用の創出が人口流出の歯止めとなり、本市の地方創生に繋がるとともに、地域住民の活動を促す重要な施策の一つと捉えています。また「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、海岸地域などの地域資源を活かした交流拠点の形成を図ることや、情報発信に努めることが基本目標となっています。地域の魅力を再発見し、広く市内外にPRする活動を通して、行橋市の認知度の向上や、郷土愛を醸成し地域に根付いた活動の継続が積極的な定住につながる要素にもなることと考えられます。また、これからの観光は地域がプロデュースして、従来観光資源としては気付かれていなかったような地域固有の資源を新たに活用し、体験型・交流型の要素を取り入れた旅行の形態が求められています。地域の特性を活かしやすいため、地域活性化にもつながるものと期待されます。</p> <p>本市には、今川河畔の桜、潮干狩り、海水浴場、新田原の栗園、国指定史跡の御所ヶ谷神籠石や掩体壕など多くの観光資源があります。これまでこれらの観光資源を生かした取組みとして、今川河畔の桜ライトアップ及び桜ウォーク、ビーチバレーやビーチサッカーなどの海水浴場でのスポーツイベントの開催などを行い、観光客を誘致してきました。</p> <p>さらに、北九州空港、JR行橋駅に加え、東九州自動車道等の交通アクセスの利便性を最大限に活用することも必要となります。一方、特産品においては「行橋市地域ブランド推進計画」に基づいていちじくや桃、豊前海一粒かきなどの特産品について、生産者と協力しながら新商品の開発に取り組み、広くPRすることとしています。併せて、「行橋市海岸地域観光振興基本構想」の着眼点である、「食べる」・「観る」・「遊ぶ」・「学ぶ」を兼ね備えた観光拠点の整備が課題でありましたが、令和2年7月に「行橋市長井浜公園」の指定管理がスタートし、新たな観光施策の展開が期待できるようになりました。</p> <p>また、組織強化を図る観光協会を観光事業実施の重要な核として、引き続き支援を行いながら自立した組織運営を促すことも必要です。さらなる観光資源の掘り起こしや観光案内板の整備、情報提供の充実がこれからの課題です。加えて、多様化する観光客のニーズに対応するために、さらには外国からの観光客誘致も視野に入れ、近隣自治体と連携した広域による観光開発の取組みとネットワークづくりも必要となってきます。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p><b>主要施策名(1)</b> 情報提供の充実</p> <p>観光PRポータルサイトやSNSの利用、パンフレット配布、イベントへの参加など、様々な媒体を戦略的に活用して積極的な情報発信を図ります。また、国内外で行橋市の知名度を高めるための事業に取り組みます。</p>
	<p><b>主要施策名(2)</b> 観光案内板の整備</p> <p>マイカーで観光地を訪れる人や外国からの観光客を目的へ分かりやすく誘導するために、外国語併記の案内板を設置します。また、説明看板が古くなっているところは改修を行い、未整備の箇所については設置を進めます。</p>
	<p><b>主要施策名(3)</b> 広域観光事業の推進</p> <p>近隣自治体と連携しながら、広域的な観光ネットワークに取り組み、雑誌や報道機関などの広報媒体や大手旅行代理店等を活用しながら観光客の誘致につなげます。</p>
	<p><b>主要施策名(4)</b> 特産品の開発</p> <p>関係事業者の連携を促し、市の特色を生かした特産品開発に取り組み、その普及に努めます。</p>
	<p><b>主要施策名(5)</b> スポーツイベント事業の推進</p> <p>海岸地域などの観光資源を活かしたスポーツイベントを実施し、行橋市のPRを行い、観光客の誘致につなげます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績					評価年度	達成度の説明 (R3年度)
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	観光入込客数(万人)		H27年度 26	H29年度 27	H30年度 28	R1年度 28	R2年度 17	R3年度 20 13	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、多くのイベントが中止となり、また人流が抑制されたため、観光客数は大きく減少しました。(中間測定値)
	観光PRポータルサイトアクセス数(件)		H27年度 -	H29年度 56,000	H30年度 77,000	R1年度 110,000	R2年度 118,000	R3年度 120,000 97,000	イベント情報等、旬な情報を発信するよう心がけ、アクセス数の向上を図りました。
	観光案内板整備(改修)数(箇所)		H27年度 98	H29年度 12	H30年度 2	R1年度 0	R2年度 4	R3年度 累計118 累計119	既存看板の点検及び今後に向けた協議を行い、新たに文化財の説明板、サイン等を3ヶ所整備しました。
	特産品開発数(種類)		H27年度 7	H29年度 1	H30年度 0	R1年度 1	R2年度 0	R3年度 累計12 0	開発した特産品のPRを行い、販売数を増加させる取り組みを行いました。

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	<p><b>主要施策名(1)</b> 情報提供の充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>観光ポータルサイトを中心に、各種イベント情報等の発信を行うとともに、行橋市観光パンフレットとして「旅する、ゆくはし。」を作製しました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>作製したパンフレットを活用して、市外へ広くPRする取り組みが必要です。またPRの効果を高めるために、メディアを組み合わせたり、PRイベントへの積極的な参加を行ったり、観光客数を増加させるため、幅広く取んでいく必要があると考えます。また、コロナ禍で減少したポータルサイトのアクセス数を回復させるため、掲載記事や掲載方法について検討していきます。</p> <p><b>主要施策名(2)</b> 観光案内板の整備</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>既存看板の点検を行うとともに、新たに3ヶ所において整備を行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>今後についても、未整備箇所の設置をすすめ、老朽箇所の改修を行います。</p> <p><b>主要施策名(3)</b> 広域観光事業の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>北九州空港内の圏域情報コーナーに電照広告を展示し、県外及び周辺地域の利用客等に対しPRを行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>多様化する観光ニーズに対応するため、近隣自治体との広域ネットワークの形成をより一層前進させるよう取り組みます。京築地域の強みを生かした、広域的な視点で観光コンテンツの磨き上げを行い、情報共有・交流を加速することが必要だと考えます。</p> <p><b>主要施策名(4)</b> 特産品の開発</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>今後の特産品開発に向けて協議を継続して行いましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、事業者による開発に係る先行投資が難しい状況があり、新規商品を開発することができませんでした。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>新規の開発が難しい状況下では、特産品の知名度を上げ、販路の拡大を行うことを最優先課題として捉えています。</p> <p><b>主要施策名(5)</b> スポーツイベント事業の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>行橋市長井浜で開催予定であった「ゆくはしビーチバレーボールフェスティバル2021」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止いたしました。また、長寿大橋を渡る海岸線をコースとした「ゆくはしシーサイドハーフマラソン2022」も、市内外から多くのランナー・スタッフの参加が見込まれるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止いたしました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>PR活動について、市報やポスター等従来の宣伝活動に加え、積極的なSNSを利用した宣伝活動を市広報係と連携し、行うことが必要である。また、イベント開催時の新型コロナウイルス感染症の対策や中止した場合の代替企画を立案し実行することが課題だと考えます。</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p>
----------------------	---

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1 特産品開発事業	各関係機関と協議しながら、新たな特産品開発を進めていく	2,240	0	2,240	2,100	0	2,100	700	0	700	3
						1,400	0	1,400				9
	2 観光地環境整備事業	海水浴場や自然公園などの観光地整備事業を行う	2,881	1,831	1,050	4,842	2,742	2,100	5,192	2,742	2,450	4
						4,386	1,936	2,450				4
	3 行橋市観光協会事業	行橋市観光協会の事務及び会員と連携して観光事業を推進する	13,760	6,760	7,000	16,302	11,752	4,550	15,366	10,466	4,900	1
						16,302	11,752	4,550				1
	4 今川河畔ライトアップ事業	今川河畔の桜開花時期にあわせて、ライトアップを行う	1,270	850	420	1,270	850	420	1,620	850	770	5
						1,270	850	420				6
	5 観光用トイレ改修等事業	既存の観光用トイレの便器の増設及び洋式化を行う	6,413	2,563	3,850	0			-	0	1,400	-
						1,400	0	1,400				-
	6 北九州空港地域PR事業	到着フロアにおける電照広告の掲示及び地域PRコーナーでの各種PR掲示	2,734	2,104	630	2,738	2,108	630	2,738	2,108	630	6
						2,736	2,106	630				7
	7 海岸地域観光振興事業	海岸地域の観光資源の活用を図り、イベント開催、HP作成を行う	12,676	538	12,138	24,994	10,294	14,700	23,526	8,476	15,050	2
						11,705	505	11,200				2
	8 サイクルツーリズム推進事業	自転車活用推進法に基づき、サイクルコースの設定・PRや拠点整備を行う	910	0	910	2,155	755	1,400	3,322	1,572	1,750	9
					2,282	532	1,750				8	
9 観光トイレ管理事業	既存の観光用トイレの管理、修繕を行う	3,553	1,803	1,750	3,969	2,219	1,750	5,293	2,493	2,800	8	
					4,503	2,053	2,450				5	
10 観光PR事業	パンフレットの作成等、行橋市の観光譲歩のPR発信を行う	2,207	107	2,100	7,626	3,776	3,850	1,971	571	1,400	7	
					8,798	3,548	5,250				3	
11												
12												
13												
14												
15												

上段：見込値  
下段：実績値

⑦  
施策全体の今後の方針と展望

行橋市内の自然や特産品、文化財などの資源を市の観光資源として活用を図り、計画的に整備を行います。特に海岸地域の観光振興に重点的に取り組んでおり、既存資源を活かした地域の新たなブランド作り、話題作り、他地域と差別化できる取り組みを継続的に実施していきます。今後、当市の観光動向実態調査結果の活用、観光事業に関わる人材育成事業を実施し、戦略的な観光事業の推進を図るとともに、行橋市観光協会、周辺地域と連携しながら広域的な観光事業を視野に入れた組織作りに取り組みます。また、さらなる観光客の誘客を目指し、観光情報ポータルサイトの活用やイベントの開催などを通して、広く本市のPRを実施するとともに、周遊ルートの整備も進めていきます。令和3年度は、福岡県の宿泊税を財源とした観光施策を展開し、観光パンフレット「旅する、ゆくはし。」の作製やサイクルツーリズムに関する拠点整備等の事業に取り組みを行っており、今後益々、当市及びこの京築地域の観光誘客につなげていきたいと考えております。

⑧  
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等